

2015年度 事業計画

2015年1月1日から2015年12月31日まで

特定非営利活動法人シマフクロウ・エイド

はじめに

自然生態系のトップに在り、豊かな環境の指標であるシマフクロウの危機的状況は、私たちの持続可能な社会と深く連動しています。絶滅危機のシマフクロウの保護やその環境保全の取り組みを適切で効果的に進めるには、地域住民をはじめ広く多くの人がこの課題を知り配慮することが急務となっています。

設立から8年度目は、この課題解決に向けて、昨年に引き続き基盤となるシマフクロウの保護・保全活動を実施し、その成果還元の一環として、小屋を活用した環境教育をはじめ、人材育成や広報を進め、地域が一体となった保護の取り組みを推進していきます。

また、今までの広報を見直し整備することによって、シマフクロウなど希少野生動物と共存し環境保全に意欲的に取り組む人づくりや社会づくりを推進していきます。

I 保護・保全事業

1. 給餌

1) 補助給餌

絶滅のおそれのあるシマフクロウへの繁殖を補助するために、おさかな寄付収入で活魚を購入し、年間を通じて専用給餌池に放流します。設立当初から今日まで通年にわたり実施しています。

2) おさかな寄付の募金活動

シマフクロウの現状や給餌の必要性をわかりやすく広報し、シマフクロウ支援に参加しやすい募金活動に取り組みます。

2. 調査及び生息地パトロール

シマフクロウの保護・保全活動を適切で効果的に進めるために、その行動圏、生息や繁殖状況等に関して以下の調査を昨年度に引き続き実施します。

1) 生息確認調査

シマフクロウの生息の可能性のある場所や生息情報が寄せられた周辺において生息確認調査を行います。

2) 繁殖ペアと幼鳥の経過観察及び生息地のパトロール

繁殖及び生息が確認されている地域における成鳥や幼鳥等の行動調査を行います。生息地のパトロールを定期的に行い、繁殖等に影響を及ぼす事項に注意を払います。給餌池の利用状況調査に取り組みます。

3) 調査・パトロールの募金活動

シマフクロウの現状や調査・パトロールの必要性をわかりやすく広報し、支援に参加しやすい募金活動に取り組みます。

3. 植林

シマフクロウの将来の生息地作りのため、確実に根付ける広葉樹の植林を2013年に実施した場所において、引き続き草刈りや電気柵等のメンテナンスを定期的に行います。

II 普及・啓発事業

1. 環境教育

シマフクロウをテーマとした環境教育「シマフクロウ学習」を関係地域の学校で実施します。昨年建設した小屋も活用し、子どもたちにシマフクロウの現状について効果的に知る機会を提供し、地域一体でのシマフクロウ保護の取り組みの重要性に一層の理解と関心を進めます。

2. 人材育成

シマフクロウの保護調査員の担い手をホームページ等で通年募集し、人材の発掘に努めます。

関係機関等からの研修を受け入れ、野生動物の保護や持続可能な環境保全の推進に寄与します。

3. 広報

シマフクロウが直面する問題や当活動の内容をわかりやすく広報し、興味・関心から行動へつながる人づくり、社会づくりを強化し、かつ安定して継続する組織を目指し、以下の活動に取り組みます。

1) インターネットによる発信

ホームページやフェイスブック等 SNS を通じて、活動内容等をわかりやすく広報します。

2) 講演会依頼の募集

講演会の依頼を募集し、シマフクロウの現状や当活動を知らせる機会を増やします。

3) イベント出店

イベントに出店し発信の場を広げ、活動の認知と共感の輪を広げます。

4) 会報や印刷物による発信

- ・ 会員限定で会報を発行し、季節ごとのシマフクロウや保護活動、関連ニュースを伝え、一層の理解と関心を進めます。
- ・ 地域住民向けに、当活動の紹介や協力内容などを広報し、活動への理解や関心を推進します。

5) メディアによる発信

新聞、ラジオ等マスメディアで、必要に応じて活動内容や募集内容を PR していきます。